



## ➤ 高等学校即興型英語ディベート体験会（オンライン）

9月30日（水）一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）の御協力のもと、即興型英語ディベート体験会が開催されました。参加人数71名と、移年よりも多くの生徒が参加して盛大に開催されました。



はじめに、昨年の交流大会の様子共有や、POI（Point of Information）の練習を行いました。「POI！」と言いながらしっかりとPOIのポーズをキめることができました。POIの練習を終えると早速第1ラウンドの始まりです。今回は各テーブルにメインジャッジだけでなく、生徒ジャッジが付きまます。準備時間が始まるとPDAスタッフより、ジャッジのコツについてレクチャーが行われました。フローシートの書き方、勝敗の決め方、ジャッジの勝敗の伝え方などについて説明がありました。ディベートが始まると練習したPOIが飛び交い、活発な議論となりました。個人的なエピソードを具体例として提示するなど、説得力のあるスピーチでした。



POI 練習の様子



堂々とスピーチ



ジャッジに対して自分たちの考えを伝えます

### 【参加者の声（アンケートより抜粋）】

- とても楽しかったです。難しいところもありましたが、工夫して構成を考えて意見を出すことができ、良かったと思います。
- 意見を聞くことはとても楽しかったが自分の力不足を痛感したので次はもっと英語力をつけてみたいですね。
- どちらの陣営も体験できたし、新しい人と出会えた。また、自分では考えつかない考えを知ることができ、考えの幅が広がったと感じられた。ベストディベーターになれたのが嬉しかったです。ジャッジは中々難しく大変だなと思いました。

- ・英語で本格的なルールをもとにディベートをしたのが初めてで、すぐに反論を考えないといけないのが難しく楽しかった。
- ・ジャッジをしていた時は簡単に見えたが実際やってみると緊張と焦りで上手く言いたいことを伝えられず、難しくかった。また、やりたいと思えるような経験でした。
- ・自分の意見を、根拠を持たせて、伝わりやすく、かつ素早くまとめるのは想像以上に難しくかった。相手の意見に合わせて自分の主張を変化させ、対応していくのがとても大変だった。
- ・初めての経験で、話せる英語が身につけていないということを実感しました。これからもこのような体験に参加したいと思いました。
- ・あまり英語でディベートをしたことはなかったけれど、想像以上に頭を使い、話す力だけでなく聞く力や考える力などたくさんの力を総動員することが楽しかったです。
- ・非常に自分の成長に繋がりました。ロジックと英語を同時並行で考えるのは難しくかったですが、英語力を向上させることができました。
- ・初めてディベートに挑戦したが、相手の話を聞き取ってその場で話を構築するのが難しくかった。しかし、上手に論を展開できたときは嬉しかった。
- ・去年よりも英語の聞き取りができるようになっていたことが嬉しかったです。ですが、やはり英語の即興での文の組み立てがとても大変だったので、これからもどんどん挑戦していきたいと思いました。
- ・最後のスピーカーだったので、ディベート全体の流れをまとめること、論点をまとめた上で自分側の主張をすることに努めました。そこは評価していただけて嬉しかったです。その一方で、即興で、的確な客観的な主張をすること、自身の論理の整理をしながら話すことの難しさを感じることができ、これからの課題も見つけることができたと思います。

#### 【各賞の受賞】

##### ＜ベストディベーター賞＞

15名

##### ＜ベストPOI賞＞

4名

##### ＜ベストジャッジ賞＞

12名

## G10 研修、NZ 研修 研修発表についてお知らせ

今年度、東京グローバル10事業として海外派遣を実施することができませんでしたが、グローバル・リーダー育成研修は実施され、例年通り研修生は「食料問題解決に関する提言」をまとめています。また、ニュージーランド姉妹校交流海外派遣に参加する予定だった生徒たちも二国間の文化や自然についてテーマを設定し研修を続けています。その研修成果を下記の日程で発表します。残念ながら皆さんは参加することができませんが、「Global journal」を通して、発表の様子をお知らせします！

#### 【ニュージーランド姉妹校交流研修生徒「日本とニュージーランドの文化や自然について」】

10月19日(月)放課後 ニュージーランド大使館でプレゼンテーション

#### 【東京グローバル10(G10)研修生徒「食料問題解決に関する提言のプレゼンテーション」】

10月22日(木)7:30~8:30 米国アспен研究所とオンライン通信で発表